

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

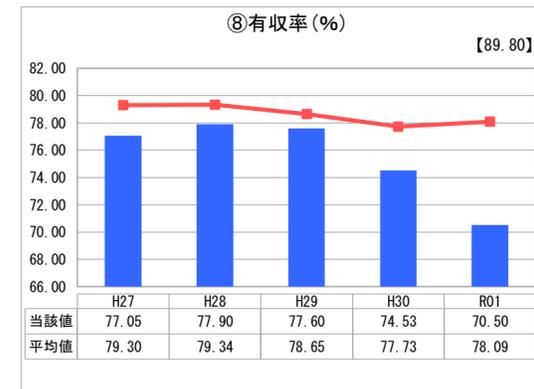
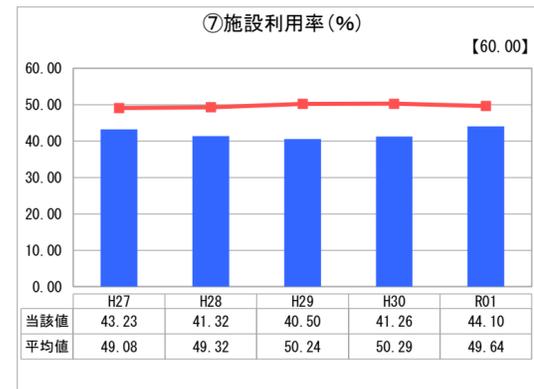
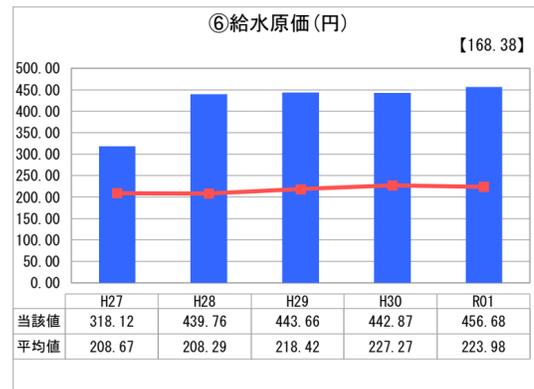
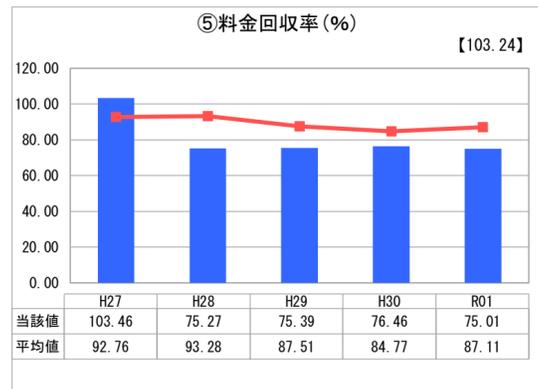
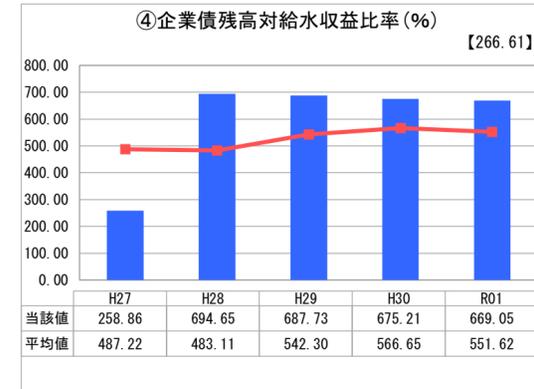
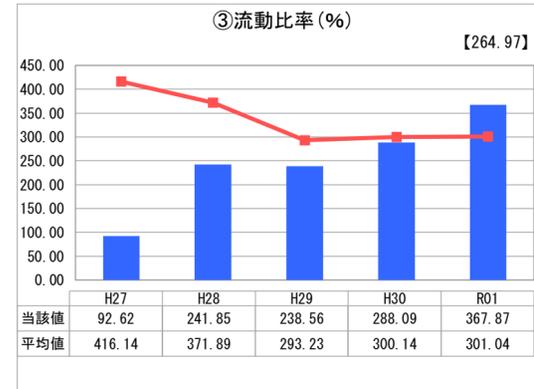
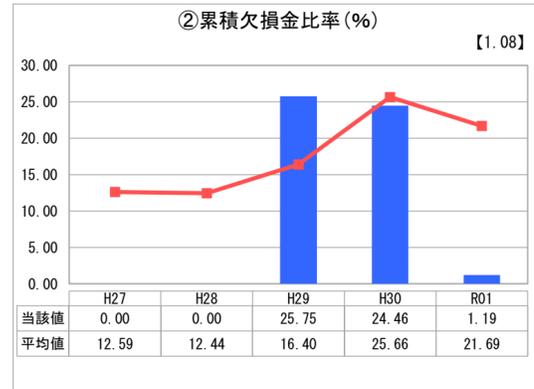
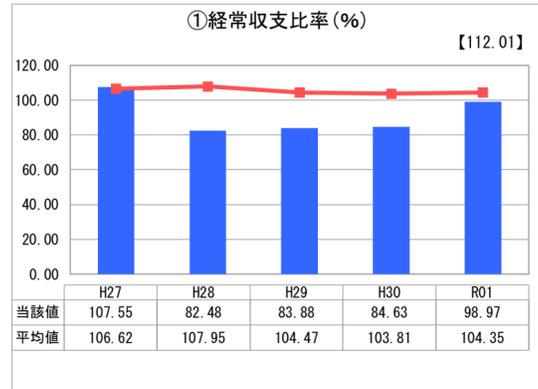
北海道 夕張市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	64.16	99.44	6,966	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,769	763.07	10.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,701	44.20	174.23

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

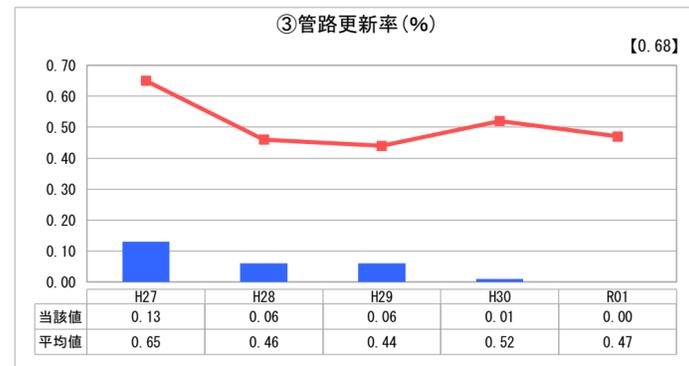
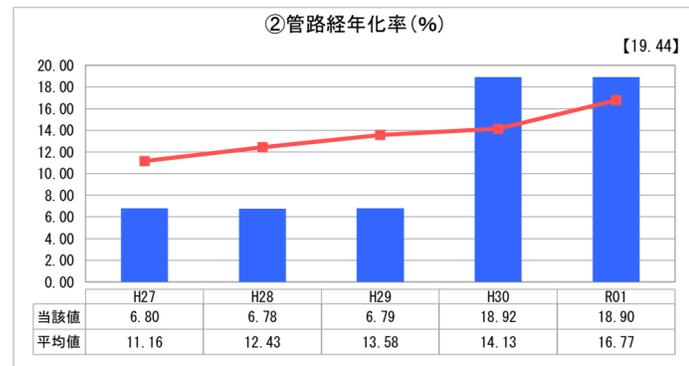
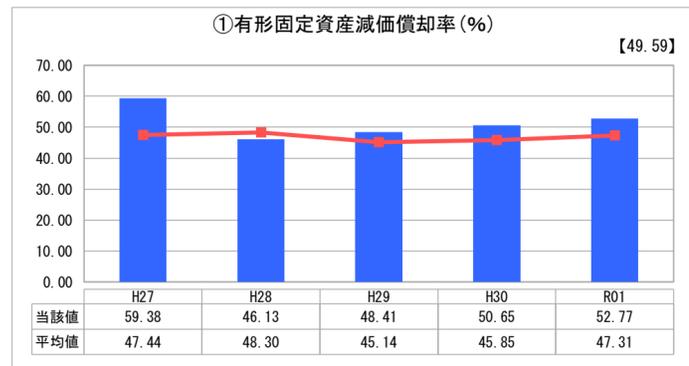
### 1. 経営の健全性・効率性について

- 平成28年度に更新した浄水場等の減価償却が始まったため、100%を下回っている。今後、更なる経営効率改善に努める。
- 決算統計報告時には当年度未処理欠損金が発生しているが、R元年度損失分は未処分利益剰余金で補填している。そのため、欠損金は発生していない。
- 毎年度100%を上回っているため、経費節減等で更なる流動比率の上昇に努める。また、平成27年度に大幅減少しているのは、平成26年度の会計基準の見直しにより、1年以内に償還する企業債を流動負債に計上することとなったための減少である。
- 平成28年度の浄水場更新に伴い、新たな借入が発生したため増加した。今後、計画的に返済を行っていくことにより、改善が見込まれる。
- 給水に係る費用が増加したことにより、100%を下回っているため、経費節減等の検討が必要である。
- 有収水量1mあたりの給水原価は類似団体に比べて高い状況にあるため、経費節減等の検討が必要である。
- 類似団体を下回っているため、配水能力の縮小等、効率化に努める必要がある。
- 類似団体を下回っているため、漏水調査の実施や管路の更新で漏水を減らす等、更なる有収率の上昇に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- 平成28年度の浄水場等更新に伴いH28年値より数値が改善したが、法定耐用年数を迎える管路等を多く保有している。なお、平成27年以降大幅に増加しているが、これは平成26年度の会計基準見直しによる、みなし償却制度の廃止に伴う増加である。
- 平成30年度以降は類似団体の平均を上回っており、管路の計画的な更新が必要である。
- 類似団体平均を下回っている。今後、管路の経年率が増加することを踏まえ、計画的な更新が必要である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在は平成22年度に策定した「夕張市上水道第8期拡張事業計画」に基づき経営しているが、人口減少に伴う給水収益の減少及び管路の老朽化に伴う更新事業が増加することを踏まえて、新たに更新に係る費用と経営状況を把握し、更なる経費節減及び収納率の向上に取り組み、健全な経営を維持しつつ計画的かつ効率的な施設の更新を行う必要がある。